

新指定文化財概要

種 別	有形民俗文化財
名 称	鈴木家（鈴源）の生業と社会生活を語る民具
員 数	848 点
時 代	明治時代から昭和時代
所 在 地	所沢市並木 6-4-1
所 有 者	鈴木 源太郎／所沢市教育委員会
概 要	鈴木家は通称「鈴源」と呼ばれ、地域の中核的な役割を果たした名家である。 同家の民具は、同家の暮らしや生業、折々の行事や儀礼、信仰、地域社会での役割、所沢飛行場との関わり等を示すと共に、所沢市の近代のあゆみを物語る貴重な資料である。 衣食住を伝える資料としての食生活用具で特筆すべきはハレの飲食器類であり、祝儀の人寄せ時に用いられた漆器の吸物椀 30 人前 3 箱をはじめ、祝儀不祝儀の本膳とする猫脚膳と親椀・汁椀・壺・平の一式が揃っており、椀には同家の通称である「鈴源」の文字が入れている。市域では、膳椀組合を組織して共同購入する例が多い中、多数の漆器類を調えることのできた同家の家格を示す資料群といえる。 生業を伝える資料としての養蚕用具は、蚕室暖房用の火鉢や温度計にはじまり、蚕卵紙、蚕種箱、蚕座、掃き立て用具、飼育用具、給桑用具、上簇用具、収繭出荷用具、製糸用具に至るまで作業工程を追ったほぼすべての用具が揃っており、内容が充実している。また、生絹製作用具と製品の生絹及び原料の生糸については、これまで市域において確認されていなかった生絹生産の事実を証明するものであり、所沢の織物文化の定説を修正する発見となった。 地域社会での位置付けを伝える資料として贈答・社交用具では、同家の功績に対して贈られた記念品が多数あり、所沢町上水道布設記念盃、所沢市市制施行記念盃、所沢市庁舎新築落成記念金杯、所沢病院開院記念銀杯、所沢陸軍病院増築落成記念盃、所沢中学校新築記念盃、松井小学校改築記念風呂敷、所沢演芸館創立記念盃、所沢飛行場駅開通記念盃等、いずれも所沢市の行政史や教育史及びマチ場や所沢飛行場の歴史を語る上で欠かせぬ貴重な資料である。併せて、松井村役場改築記念盃、松井村衛生組合銀杯など同家の地元に関わる記念品も多く、同家の尽力ぶりがうかがえる。 なお、歴史資料「鈴木家（鈴源）の所沢飛行場と近代を語る資料」と本件の資料とは関わる内容が多々ある。また、本件の資料は同家が郷土絵師の絵画「石川文松筆 琴棋書画図襖絵」を設けるほどの家格であったことを示すものでもある。 指定理由 鈴木家は、養蚕の近代化を先頭に立って進めた農家であると同時に、地域行政の役職を歴任し、さらに、所沢飛行場建設においては広大な土地を提供したり要人を宿泊させる部屋を増築したりと、「航空発祥の地所沢」を支えた家である。 指定資料のうち、特に「養蚕用具」と「染織用具」は、コレクションとして体系化するに見合うほど、点数及び種類が揃っており充実している。また、生絹製作用具と製品の生絹及び原料の生糸は、市域における絹織物の生産とその販路を知る上で大変貴重な資料となるものである。 そのほか、折々の行事や儀礼、信仰、地域社会での役割、所沢飛行場との関り等を示す資料が状態良く保存されており、所沢市にとって近代の歩みを今に伝える貴重な資料であると認められる。
担当委員	宮本 八恵子